

2020年度 活動報告書

新型コロナウイルス感染拡大によって今まで経験したことのない日常が生まれ、各事業についても活動の自粛や制限を余儀なくされた先の見えない1年であった。

法人としては、法人本部の設置・規定やルール作成を行い、組織体制の確立を目指した取り組みを一つずつ進めている。また、雇用における環境整備も進め、特に労務・会計業務に税理士・社会労務士の手を加える等、2017年の新規事業スタート時の手探りの状況から比べると、少しずつではあるが「あるべき法人運営」に近づいている。

キャンプ事業においては、活動中の新型コロナウイルス感染を危惧し、CC会員が参加する活動をすべて中止した。また、若者世代への感染が広がりを見せる中、キャンプスタッフにも一層の危機感と対策への意識を持ってもらうために、リモート機能を活用して、学生スタッフを対象とした感染予防講座を実施した。さらに、次年度のキャンプ活動再始動にむけてリポートチームを発足。従来型のキャンプ活動を行うのが困難である故、より深く“with コロナ”を考慮した計画の検討と、CC会員への現実的な発信・提案の必要性を感じている。

就労支援事業においては、コロナ禍によって事業収入が減少する状況があったものの、マイナスになることなく何とか1年を乗り切ったのが現状である。様々な助成金申請を行い、事業運営費の補填や事業所移転の初期費用の返済もある程度カバーすることができた。就労作業では、経済活動の停滞が受注した作業に大きな影響を及ぼし、作業量と収益の確保が課題となったが、県からの補助金や受注企業の協力もあって被害は最小限に抑えることができた。また、利用者の利用状況に変化が見られ、累犯障害者（執行猶予）の利用状況が増えて来ている。社会の状況に取り残されるケースもあり、居場所や就労支援を求められる枠組みは年々広がっている。利用者への更生保護の在り方や利用者の罪状等も考慮しながら、他の利用者・スタッフとの関係性を損なうことなく相互の安全性を確保し、丁寧に対応してきた。

コロナ禍の状況がこの一年で収束するという見通しを持ってない今、法人として今後の運営のあり方を考えていく必要がある。

法人本部

今年度より法人本部を設置し、法人の組織体制を明確にして業務が円滑に行われるように、事業経営の体制の整備に努めてきた。1年間を振り返ると、理事会における審議議題への事前準備が充実し、効率的に会議を進められたことを成果として実感できる。また、本部会議を毎月実施し、従来は年に数回実施する理事会への報告だけであった各事業の課題や運営状況について、より具体的な内容を共有することができたことも成果であろう。

今後は、各事業の情報をより具体的に理事会に提示する仕組みを、早急且つ丁寧に構築することを優先課題として捉えている。

キャンプ事業部門

2019年初めから新型コロナウイルスが流行し、キャンプ運営に大きな影響を受けた1年となった。マスク着用を嫌がるメンバーや自身の体調変化を訴えることが困難なメンバーがいるため、安全を最優先に考え、2019年度3月からのキャンプは全て中止とした。社会的にも活動自粛が求められていた時期である。

新年度を迎えたが新型コロナウイルスの勢いは収まらず、政府の緊急事態宣言の発令によって、キャンプ活動はおろか社会全体の動きが自粛ムード一色となり、前期の活動を全て中止とした。ただ、年度始めの専門家の見解は、気温が上昇する夏ごろにはウイルス拡大が一旦収まるのではないかと予測があったため、夏キャンプ実施に向けて、関係施設との調整やプログラムの準備を進めていた。宿泊施設の感染予防対策に則った活動の幅が制限されるキャンプが予想された。しかし、実施目前になっても一向に新型コロナウイルスの感染拡大の終息は見られず、夏キャンプも中止の判断を余儀なくされた。その後、感染者数減少の見込みがないため後期活動も全て中止とした。

2020年12月、翌年1月に“with コロナ”キャンプを想定した研修キャンプの実施を予定し、四ツ橋診療所の安井医師をお迎えし、学生ボランティアむけに新型コロナウイルス感染予防講座を開講。学生に感染予防対策等を改めて学でもらう機会とした。しかし残念ながら、研修キャンプ実施直前、二度目の緊急事態宣言発令によりこの計画も中止となり、以後2020年度のキャンプは全て中止となった。

新型コロナウイルスに振り回され、全く活動できない悔しい1年となったが、今後は活動期間が空いたことによる会員離れや再開した際の新規ボランティア学生の獲得等、待ち受ける難題への対応策を早急に検討することが必要である。

1. 主催事業

①グループキャンプ

グループキャンプ・チャレンジ

実施日：5/1-2(中止)、6/13-14(中止)、7/4-5(中止)、10/17-18(中止)、11/14-15(中止)、12/12-13(中止)、2/13-14(中止)、3/6-7(中止)

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加対象者：キャンピズクラブ会員：前期 5月(自粛中止)6月(自粛中止)7月(自粛中止)10月(自粛中止)
後期 11月(自粛中止)12月(自粛中止)2月(自粛中止)3月(自粛中止)

内容：「成功体験」を通して自信を育み、実りある日常生活を送るきっかけ作りを目標に、野外活動プログラムを行った。社会生活を営むために必要なスキルを取得するため、年間を通した小グループ活動を同じ場所、同じメンバーで行う予定だった。

グループキャンプ・ゆったり

実施日：5/16-17(中止)、7/4-5(中止)、10/3-4(中止)、10/31-11/1(中止)、12/5-6(中止)、1/16-17(中止)、2/13-14(中止)、3/13-14(中止)

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加対象者：キャンピズクラブ会員：前期 5月(自粛中止)7月(自粛中止)10月(自粛中止)11月(自粛中止)
後期 12月(自粛中止)1月(自粛中止)2月(自粛中止)3月(自粛中止)

内容：余暇活動支援を中心に、時間に追われることなく、ゆっくりとアウトドアを楽しむことを目的とし、必要に応じて親子分離や日常生活訓練等も実施する予定だった。

グループキャンプ・キッズ

実施日：6/13-14（中止）、10/24-25（中止）、11/28-29（中止）

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加者：キャンピズクラブ会員及びその保護者：

6月（自粛中止）10月（自粛中止）11月（自粛中止）

内容：野外を中心に様々なフィールドでの楽しいキャンプ活動や遊びを通して、子どもの仲間づくり・社会性獲得の促進を目指すとともに、活動に参加した家族が、子どもの特性理解と子育て支援の在り方に関する情報交換を行う場、さらには悩みを話し合う場を設ける予定だった。

②宿泊キャンプ

キャンプ名	期間	場所	特記事項
10泊キャンプ	8/11-21	国立室戸青少年自然の家	長期キャンププログラム（中止）
淡路ゆったりキャンプ	8/22-27	国立淡路青少年交流の家	中期キャンププログラム（中止）

③どきどきキャンプ

ユニバーサルキャンプ

実施日：6/6-7（中止）

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加者：認知症、障害などに関わらず高齢者全般と高齢者キャンプに興味がある方

内容：高齢者を対象とし、リハビリ・レクリエーション・世代間交流を目的として、野外活動プログラムを活用して活動する予定だった。

④その他のキャンプ

研修キャンプ及びCD研修

実施日：4/11-12（中止）、5/23-24（中止）、9/5-6（中止）、2/6-7（中止）

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター他

参加者：キャンピズメイト会員：4月（自粛中止）5月（自粛中止）9月（自粛中止）2月（自粛中止）

内容：キャンプを支えるボランティアスタッフに対してトレーニングキャンプを実施し、ボランティアの資質向上を図るとともに、キャンプ技術だけでなく、社会福祉分野全般の研修も行ってスキルアップを目指す予定だった。

2. その他

①団体の行うキャンプへのサポート(委託事業)

専門学校ベルランド看護助産大学校 1泊研修

実施日：4/4-5（中止）

活動場所：大阪府青少年海洋センター

対象：ベルランドの看護学生

目 的：新入生オリエンテーション

大阪市健康回復キャンプ

実 施 日：10/24

活動場所：大阪府立少年自然の家

参 加 者：大阪市に在住の喘息罹患の児童とその親

内 容：喘息に関する正しい知識と喘息体操やピークフローの使用方法などを学び、喘息に負けない強い体を作るための指導・教育を行うとともに、休日の思い出作りを提供した。

(株)イング主催キャンプ

実 施 日：8/3-6

活動場所：国立曽爾高原少年自然の家

参 加 者：学研教室に通う小学生から中学生

内 容：夏休みを利用した余暇支援及び体験学習

②障害者キャンプに関する調査研究活動

特になし。

③障害者キャンプに関する情報収集・提供

キャンピズ・ニュースの発行

ホームページ上でのブログ掲載及び Facebook での活動報告及びプロモーション活動

就労支援事業部門

II. 事業の成果

新年度は消防法の問題で移転を余儀なくされ、新たな場所から事業がスタートしたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって事業所としては対応に苦慮する1年となった。4月中旬から5月末までは緊急事態宣言発令に伴って、感染防止のために事業所を閉所することとなり、その期間、利用者は在宅支援に切り替え、家庭からの報告を受けて状況の把握に努め、必要に応じて作業を自宅へ届けることで何とか乗り切ることができた。感染対策については、日常の作業でマスク着用が定着したため、利用者やスタッフの予防意識は浸透し易かった。また、アルコールやマスクも助成金の活用で大量に購入・確保が出来、不足することなく提供できた。朝礼等、日々の活動を通じて感染拡大予防に対する意識向上を呼び掛け、ソーシャルディスタンス、定期的換気、マスク・アルコールの利用を徹底し、事業所外でも対応を呼びかけた。

就労作業については、一つの企業の作業量や収益が運営上の大きな支えとなっていたが、コロナ禍の影響で受注がストップし大幅な減収となった。しかし逆に、他の受注企業のコロナ禍に対応したネット販売に需要が高まり、それが減収の歯止めとなって、不十分なながらも作業量や収益の確保につながった。

作業は、どんな障害の方でも一つのことができれば仕事ができるという考えをモットーとして、利用者一人ひとりに合わせた作業を提供することが出来ている。

地域においては、社会福祉協議会や地域の障害者相談支援センター、近隣事業所等への事業所周知が徐々に進み、相互の関係性の構築は深まりつつある。また、支援学校の実習が安定的に行われるようになるとともに、中学生がトライアルウィーク（中学生職場体験事業）を通じて見学に訪れたり、他の福祉事業所のスタッフ訪問や新設事業所の開設に向けた施設訪問を受けたりして、年間の見学・相談件数が、コロナ禍にありながらも一定数以上あったことは評価したい。

利用者状況

定員 20 名 （ 登録 25 名 （男：13名、女：12名） 年間月平均利用者数 12.0 名 ）

	R1 年度 (2019 年)	R2 年度 (2020 年)
稼働率	58.53%	59.5%
利用者延べ人数	2,763 人	2,811 人
平均利用者数	11.5 人	12.0 人
報酬単価 (1 人 1 日当り)	7,786 円	7,330 円
サービス活動収益	22,443,583 円	22,521,479 円

利用者の障害状況

身体	知的	精神	発達
3	12	10	0

年間利用者増減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用	1		1		1							3
解除			1			1					1	

令和3年3月31日現在

解除の事由、他事業所へ移行、福祉サービス利用中止、

職員配置

- (1) 管理者 1名（常勤・サービス管理責任者兼務）
- (2) サービス管理責任者 1名（常勤・管理者兼務）
- (3) 生活支援員 1名（常勤）
- (4) 職業指導員 3名（常勤1名・非常勤2名）
- (5) 目標達成指導員 2名（非常勤）

事業報告

(1) 生産活動

生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の個性・体調・能力に応じて支援している。

作業種名	製品・作業内容
有名菓子の軽作業	お菓子の箱詰め作業 ※新型コロナウイルスにより現状作業ストップ その他 ・食紅（色粉）シュリンクフィルムスプーン差し
サプリメント作業	ネットショッピング販売のサプリメント ・パウダー類（難消化性デキストリン、おから、青汁）計量、充填及びシーラー、ラベル貼り ・ビン類 ラベル貼り、スタンプ、緩衝材巻き ・水素スティックの袋詰め・シーラー ・製品出荷用梱包
DM発送	キャンペンニュース・印刷封入作業 大阪体育大学OB会・総会案内・印刷封入作業
ナッツ・ドライフルーツ	ナッツ・ドライフルーツ・オートミールの計り・充填作業
ペットサプリ	ペットのエサ・サプリメント計り・充填作業 水素スティックの充填作業

(2) 関係機関との連絡会及び相談、見学会

まるっと福祉事業所説明会（2021年6月12日実施予定）

実行委員会・リーダー会議・出席（1/29.2/5.3/1.3/22.3/29）

(3) 地域の行事・イベントへの参加

- 4月2日(木) 新事業所移転に伴う、避難訓練
- 8月7日(水) トライアルウィーク職場体験・事業所見学・灘中学校生徒1名
- 8月13日(木) 食事会 (※コロナ感染予防実施の中、事業所にて)
- 10月12日(月)～16日(金) 芦屋特別支援学校・高等部2年生実習
- 10月21日(水) 丹波篠山・真南条 黒大豆枝豆収穫体験
- 12月11日(金) ケーキの街芦屋 福祉施設ケーキ贈呈
- 12月21日(水) 食事会 (※コロナ感染予防実施の中、事業所にて)

(4) 研修及び講習・講座

- 7月22日(水) 個別支援計画と実地指導の厳格化」のセミナー
- 8月3日(月) スタッフ研修「障害とは」
- 8月17日(月) 「実地指導セミナー」オンライン
- 8月18日(火) 「特定処遇改善セミナー・基本理解と実績報告」オンライン
- 10月16日(金)19日(月) 虐待防止研修・不適切な支援(スタッフ全員)
- 12月10日(木) 権利擁護研修・虐待防止(保健福祉センター)
- 12月22日(火) 兵庫県セルフセンター・食品表示セミナー・オンライン開催
- 12月23日(水) 市民活動団体交流会(あしや市民活動センター リードあしや) オンライン開催

その他

① 見学

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	1	1			1	1	1	1		1	3	1	11
支援 家族	2	3			1	1	2	2		4	1	2	19

② 実習・体験

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習 体験		1	1	1			1	1			1	2	8

※県立芦屋特別支援学校 高等部2.3年生含む

諸会議の開催報告

定例総会の開催

1. 開催日時： 2020年6月21日(土) 15時00分 から 17時00分 まで
2. 開催場所： Zoomによるオンライン会議
3. 正会員数： 20名 出席正会員数 14名（内委任4名） 不明2名
4. 議長の選任

定刻になり司会者、水流寛二氏は本日の総会は定員を満たしたので有効に成立した旨を告げ開会を宣言し、次いで代表理事挨拶に続き議長の選出をはかったところ、満場一致で水流寛二氏が議長に選任され、議長挨拶の後、議案の審議に入った。

5. 議事の経過の要領、及び議案別議決の結果

第1号議案 2019（令和1）年度事業報告承認に関する件

議長は、2019年度活動報告書の（案）を示し事業担当理事が要点を説明して審議の結果、一部字句を修正して活動報告書は、満場一致でこれを承認した。

第2号議案 2019（令和1）年度会計決算報告承認に関する件

議長は、2019年度活動計算書の（案）を示し事業担当理事が一部訂正の上要点を説明して審議の結果、活動計算書は、満場一致でこれを承認した。

関連して監事から監査報告書を用いて財産目録、収支計算書は収支状況及び財政状況を正しく示している事、事業報告書の内容は真実である事、及び理事の職務執行に不正、または法令・定款に違反する重大な事実はない事を認める監査報告があった。また経営状況の評価や当面するコロナ禍対応と共に、中・長期の事業運営を図るための助言があった。

第3号議案 2020（令和2）年度事業計画（案）承認に関する件

議長は、2020年度活動計画書の（案）を示し事業担当理事が要点を説明して審議の結果、活動計画書は、満場一致でこれを承認した。

第4号議案 2020（令和2）年度活動予算（案）承認に関する件

議長は、2020年度活動予算書の（案）を示し事業担当理事が要点を説明して審議の結果、活動予算書は、一部修正して満場一致でこれを承認した。

理事会の開催

第1回 理事会

日時：2020年4月26日（日）14:00～16:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、西川正人、阪田昌三、藤原一秀、新井純一、竹内靖子、信達和典、金本拓也[敬称略、順不同]
水井広起（キャンピズ/事務局） 土橋勇（事務局）

- 内 容：①総会に向けての進捗状況
②キャンプ事業の進捗、及び共有事項
③就労支援事業の進捗、及び共有事項

第2回 理事会

日 時：2020年7月11日（土）19:00～21:00

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、阪田昌三、新井純一、竹内靖子、畠中稔生、梅田純平、信達和典
金本拓也 [敬称略、順不同] 土橋勇（事務局）

- 内 容：①夏キャンプ実施可否の討議と決定
②キャンプ中止後のフォロー施策の検討。

第3回 理事会

日 時：2020年10月27日（金）19:30～20:50

場 所：Zoomによるオンライン、及び対面（キャンピズ事務局）会議

出席者：水流寛二、則包正人、阪田昌三、藤原一秀、新井純一、信達和典 金本拓也 [敬称略、順不同]
水井広起（キャンピズ/事務局長） 土橋勇（事務局）

内 容：芦屋市カフェ運営事業者募集に関する件

第4回 理事会

日 時：2020年11月26日（木）19:15～21:20

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、阪田昌三、新井純一、畠中稔生、信達和典 金本拓也 [敬称略、順不同]
水井広起（キャンピズ/事務局長） 土橋勇（事務局）

- 内 容：①上半期事業収支、及び現状報告（2020.4～9）
②総務からの労務関係

第5回 理事会

日 時：2021年2月16日（火）19:10～21:15

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、阪田昌三、新井純一、畠中稔生、信達和典 金本拓也、西川正人、藤原一秀、竹
内靖子[敬称略、順不同]

水井広起（キャンピズ/事務局長） 土橋勇（事務局）

- 内 容：①法人本部からの報告・提案
②2021年度（令和3年度）事業及び予算について

第6回 理事会

日 時：2021年3月24日（水）19:10～21:10

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、阪田昌三、信達和典 金本拓也、西川正人[敬称略、順不同]

水井広起（キャンピズ/事務局長） 土橋勇（事務局）

- 内 容：①2021年度（令和3年度）事業計画（案）
②2021年度（令和3年度）事業予算（案）

- ③法人本部からの報告・提案
- ④役員改選について（2021年度-2022年度）

プロジェクト会議の開催

第1回 プロジェクト

日時：2020年4月11日（土）19:00～20:50

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、阪田昌三、藤原一秀、新井純一、竹内靖子、畠中稔生、梅田純平
信達和典、金本拓也 [敬称略、順不同]

水井広起（キャンピズ/事務局） 土橋勇（事務局）

内容：新型コロナウイルス感染拡大に伴うキャンプ活動の方針決定

第2回 プロジェクト

日時：2020年11月15日（土）10:00-12:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、阪田昌三、信達和典 [敬称略、順不同]

水井広起（事務局）

内容：理事会に向けて確認・調整事項

第3回 プロジェクト

日時：2021年1月19日（火）19:00-21:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、阪田昌三、畠中稔生、新井純一、藤原一秀 [敬称略、順不同]

水井広起（事務局）

内容：2021年度キャンプ事業再開に向け意見交換

法人本部会議の開催

第1回 法人本部会議

日時：2020年5月2日（土） 21:30～23:30

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内容：①組織体制の確認と共有、進行方法について

②各事業の報告

第2回 法人本部会議

日時：2020年9月15日（火） 17:00～19:30

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内容：組織体制の確認と共有、進行方法について

第3回 法人本部会議

日時：2020年10月27日（火） 18:00～20:00

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）
内 容：各事業の報告と課題の共有、するべきことの確認

第4回 法人本部会議

日時：2020年11月26日(木) 18:00～20:00

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内 容：①理事会での議題確認と調整

②各事業の報告と課題の共有、するべきことの確認

第5回 法人本部会議

日時：2020年12月22日(火) 18:00～20:00

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内 容：①理事会での議題確認と調整

②各事業の報告と課題の共有、するべきことの確認

第6回 法人本部会議

日時：2021年1月26日(火) 18:00～20:00

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内 容：①理事会での議題確認と調整

②各事業の報告と課題の共有、するべきことの確認

第7回 法人本部会議

日時：2021年2月16日(火) 17:00～18:30

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内 容：①理事会での議題確認と調整

②各事業の報告と課題の共有、するべきことの確認

第8回 法人本部会議

日時：2021年3月3日(水) 18:00～20:00

場所：ウィズ芦屋

出席者：水流（代表）、則包（副代表）、水井（法人事務局長）、阪田（総務）

内 容：①理事会での議題確認と調整

②各事業の報告と課題の共有、するべきことの確認